

【動画で解説】

ホームページの作成方法とホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ

■すべて動画で解説されている

動画で覚える無料ホームページ制作講座



動画で覚える無料ホームページ制作講座

<http://toretama.jp/>

はじめに

インターネットが普及した現在、情報を得ることや商品を購入するときには、ホームページを見る人がとても増えてきました。分からないことは検索エンジンで検索したり、商品の購入も自宅にいながら行えるようになったのです。

ホームページとは、インターネット上にあるお店になります。そのため、そのお店を自分自身で作ることができれば、ホームページで実際に収入を得ていけるようになります。

まずは、ホームページが自分自身で作れることによるメリットを確認してみましょう！

1. インターネットを使ったサイドビジネスはすべて行うことが可能

最近、インターネットを使ったサイドビジネスがとても流行しています。

たとえば、他の人の商品や会社の商品を自分のホームページで紹介して、そのホームページから商品が購入されれば、売り上げの何割かを得ることができる、「アフィリエイト」。

自分の持っている知識を小冊子や電子ファイルにして販売する、「情報販売」。

ホームページに広告を掲載し、クリックしてもらえればお金が入ってくる、「クリック型課金」。

これら以外にも、インターネットを使ったサイドビジネスはたくさんありますし、これからもまた新しいサイドビジネスが出てくるはずですよ。

このような時代で、もしホームページを作ることができれば、これらのサイドビジネスは手軽に、しかもお金をかけずに行うことができるようになります。

儲かりそうな新しいビジネスが出てきたときでも、「ホームページが作れないから無理だ・・・」とチャンス逃してしまうことありませんよね？

ホームページを作ることができなければ、誰かにホームページ作成をお願いしなければならないので、収入を得るために始めたサイドビジネスに、多くの初期投資が必要となってしまいます。

そして、ホームページ更新のためにまたお金がかかりますし、自分で日記を書いているブログでは、どうしてもデザイン性という面でも劣ってしまいます。

しかし、ホームページを自分自身で作ることができれば、お金をかけずに気軽にサイドビジネスを始めることができますし、自分で自由にホームページを更新していくこともできます。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ

デザインも自由に作ることができますし、ホームページを作ることができれば、得られる収入は確実にアップします。

このように、インターネットを使ったサイドビジネスが広がっている現在、ホームページを自分で作れるということは、大きな収入を得ることができる権利を手にするということなのです！

2. フリーのWEBデザイナーとして独立することもできる

ホームページを作れるようになれば、他の人にホームページを作って提供してあげることもできます。つまり、「WEBデザイナー」として独立して、自由に生活をしながら、収入を得ていくことができるということです。

ホームページ制作にはいくつかの利益の取り方がありますが、まずホームページ提供時に、かなり大きな収入を得ることができます。

企業（会社）であれば、この売り上げに対して人件費や家賃などを引いたものが利益になりますが、個人が行えば、ホームページ作成によって得られた収入は、すべて自分1人のものです。

また、ホームページ制作は、ホームページ提供時だけでなく、「ホームページ運用費」という形で毎月料金を受け取ることもできます。

現在は、「自動引き落としシステム」という、お客様の口座から毎月自動でお金を引き落として、自分の口座に振り込んでもらうシステムがあります。これは、個人でも簡単に行うことができます。

やはり、生活をしていくためには「安定した収入を得る」ということは大きなポイントだと思いますし、そういう意味でも、毎月毎月収入が入ってくる「ホームページ運用費」はかなり魅力がありますよね。

他にも、ホームページ提供後は更新の依頼もありますし、力がつけば、コンサルタントという形で毎月顧問料としてお金を受け取ることもできるようになります。

このように、ホームページを自分で作ることができれば、独立して自由な時間と生活を手にすることも、決して夢ではないということなのです！

3. 自分の大きな能力（スキル）を持つことができる

ホームページを作れる能力とは、収入を得るためのお店を自分自身で作ることができる能力です。通常、お店を出店するとしたら、大工さんにお店を作ってもらったり、不動産会社に依頼をして、物件を借りるため、多くのお金が必要になりますよね。

しかし、ホームページを自分自身で作れることができれば、大工さんに高いお金を払って作ってもらったり、不動産会社と契約する必要はありません。すべて自分自身でお店を作ることができるのです。

お店を公開した後のリニューアルもすべて自分で行うことができますし、何より大きいことは、現実の世界と違って、インターネット上には土地に制限がないということです。

私たちは、この無限の土地に対して、作りたいお店を、いくつでも自由に作ることができます。自分のお店を自分で作っても良いですし、他の方にお店を作ってあげることもできます。

ホームページを作れる能力とは、他のどの資格よりも実用的で、人生でさまざまなアドバンテージを得ることができるのです！

今まで、ホームページを作れるようになるためには、高額なお金を支払ってスクール（学校）に通うか、独学で一から勉強するしかありませんでした。

しかし、スクールに通うには多くのお金が必要になりますし、通っている時間もなかなか作ることはできません。また、独学で勉強するには、何から始めていいのか分からずに困っている、という人もたくさんいます。

そのような方のために作成した講座が、無料ホームページ制作講座 (<http://toretama.jp/>) です。

無料ホームページ制作講座は、ホームページの作り方をすべて動画で解説しています。実際にホームページの作っているところを動画で見ることができるため、初心者の方でもホームページの作り方を覚えやすい仕組みになっています。

そしてさらに、動画だけでなく、このマニュアルのように文章と画像も同時に確認することによって、さらに理解を深めることができるようになるはずです。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ

また、このマニュアルを印刷すれば、インターネットに接続できない状況でも、いつでも好きなときにホームページの作り方を覚えることができますし、マニュアル（教科書）を見て、分からない箇所を動画（講義）として確認することもできるようになります。

ホームページは、諦めずに続けていれば必ず作れるようになります。

ホームページが自分で作れるメリットは、とても大きなものになりますので、ぜひ一緒に頑張ってください！

■ ホームページを公開するまでの流れ ～ ホームページの仕組み ～

解説用の動画：<http://toretama.jp/lesson1.html>

ホームページを作ってから、実際にインターネット上にホームページを公開するまでの流れをご説明させていただきます。

これを見れば、ホームページの大体の仕組みを知ることができるかと思います。

まず、ホームページを公開するには、**3つの必要なこと**があります。

1つ目は、ホームページのデータを作成することです。

たとえば、ホームページを表示しているファイルであったり、使用している画像ファイルであったり、このようなホームページのデータを作成することが、1つ目に必要なこととなります。

2つ目は、ドメインを取得することです。

たとえば、このホームページであれば、toretama.jp というドメインを取得しています。ドメインを取得すると、URLを使用することができますので、このURLを元にいろいろな方がホームページにアクセスできるようになる、というわけです。ホームページの住所みたいなものになります。

3つ目は、レンタルサーバを借りるということです。

たとえば、さくら、ロリポップが有名なレンタルサーバの業者になるのですが、自分のパソコンでホームページのデータを持っていても、他の人は見ることはできないですね。そのために、レンタルサーバといういろいろな方がアクセスできる場所に、ホームページのデータをおくことで、世界中の人がそのホームページを見ることができるようになる、という仕組みです。

以上が、ホームページを公開するまでの流れになります。

それでは、実際にホームページを作って公開してみたいと思います。

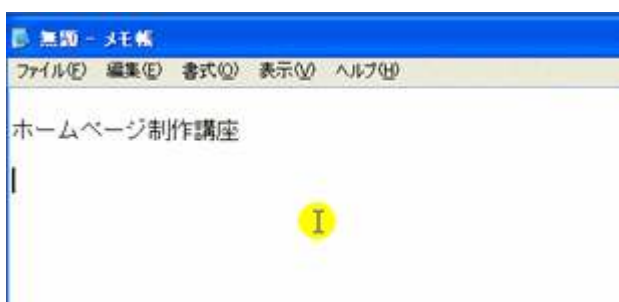
1つ目の**ホームページのデータを作成すること**から始めます。

まず、デスクトップ上の「スタートメニュー」→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を起動します。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ



このメモ帳に、ホームページの情報を書き込んでいくという形になります。



メモ帳に文章を書き込みましたら、ファイルを保存します。

ファイルの保存方法は、「ファイル」→「名前を付けて保存」と進み、保存する場所は「デスクトップ」を選択して、ファイル名は、index.html という名前で保存します。

すると、デスクトップ上に保存した index.html が表示されます。



ここが1つのポイントになるのですが、**この拡張子が.html となっているファイルが、ホームページを表示させるため専用のファイル**になります。そのため、このファイルを開くと、Internet Explorer にホームページの情報が表示されるという形です。

あとは、作成した HTML ファイルをレンタルサーバにアップすれば、いろいろな方がこのホームページを見ることができるようになります。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ

それでは、作成したHTMLファイルをレンタルサーバにアップしてみたいと思います。
ファイルをアップするには、**FFFTP**というソフトを使用します。



このソフトは、無料で使うことができますし、設定もとても簡単です。(設定方法は別の講座で詳しくご説明させていただきます)

起動方法については、ダブルクリックで起動します。

設定方法については、また別の講座でご説明させていただきますので、今回はすでに設定してあるテストサーバへ接続をしてみたいと思います。接続をクリックします。



ファイルをアップする方法は、アップする対象のファイルをドラックアンドドロップで右側にもって行くだけです。



これで、ホームページのアップが完了です。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ

それでは、ホームページにアクセスして、実際にホームページの情報が反映されているか確認してみたいと思います。

ホームページにアクセスする先については、仮のドメインを取得しておきましたので、そこにアクセスをしたいと思います。このドメインの取得方法については、別の講座で詳しくご説明させていただきますので、今回は割愛させていただきます。

取得したドメインは、toretama.boy.jp になります。(テスト的に使用しているドメインです)



この状態でエンターを押すことによって、先ほど作成した HTML ファイルの情報が、ホームページ上に表示されているという形になります。



これで、ホームページの公開が完了です。

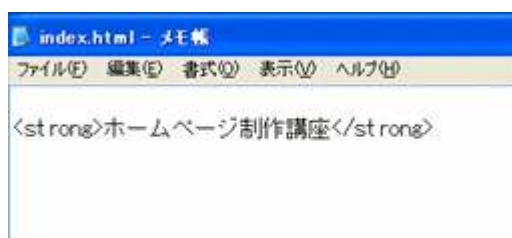
世界中の人が、このホームページを見ることができるという形になっています。

では次に、このホームページを更新したいと思います。

更新の方法は、先ほど作成した HTML ファイル（ホームページを表示するため専用のファイル）を「右クリック」→「編集」して行います。

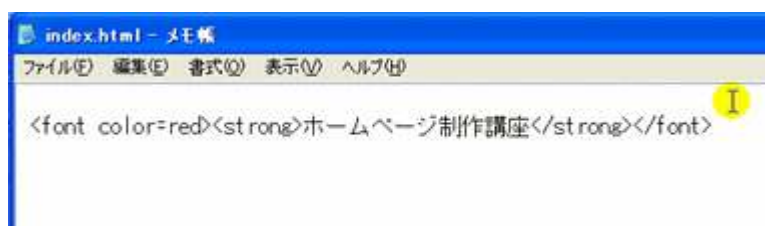
そして、たとえば文字を太くするには、`` というタグを使います。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ



同じように、/（スラッシュ）を含めた、で囲みます。
こうすることで、文字を太字にすることができます。

また、文字を赤くするには、というタグを使います。



同じように、/（スラッシュ）を含めた、で囲みます。
こうすることによって、文字を赤くすることができます。

このように、ホームページを作っていくには、**タグ**というものを使用していきます。
このタグについては、別の講座で詳しくご説明させていただきたいと思います。

あと、パソコンの**辞書ツール**を使うとこういったタグの入力が簡単にできます。
たとえば、私の場合は「f」と入力して変換をすると、が表示されるように設定しています。他にも、「s」と入力して変換すると、が表示されるように設定しています。

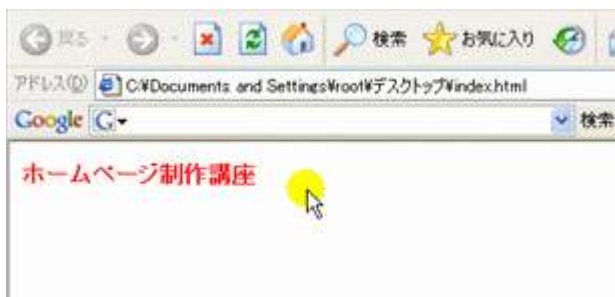
このような設定を行うことによって、作業を早く正確に行うことができます。
なお、この辞書ツールの使い方についても、別の講座で詳しくご説明させていただきます。

あとはパソコンの**ショートカットキー**を使用すると、作業を早く行うことができます。
たとえば、画面を切り替える場合は、「Alt+Tab」で行うことができます。

このようなショートカットキーを覚えておくと、作業を早く行うことができるようになりますので、
これについてもまた別の講座で詳しくお伝えします。

ホームページをインターネット上に公開するまでの一連の流れ

あとは、更新したホームページのファイルを保存して、レンタルサーバにアップします。



ただ、現在はまだレンタルサーバにファイルをアップしていないため、情報を更新しても反映がされていない状態です。そのため、FFFTP のソフトを使用して、先ほど更新した HTML ファイルをもう一度レンタルサーバにアップします。

こうすることによって、ホームページが反映されるという流れになっています。



第一回目の講座は以上になります。

このように、ホームページを公開するまでの流れは、実はすごく簡単で、あとはやり方だけ覚えれば良いだけです。ホームページは、自分の思い通りのホームページが作れるようになってくると、すごく楽しくなります。

最初は少し大変だとは思いますが、一緒に頑張っていきましょう！